

大学の世界展開力強化事業（平成23年度採択）中間評価結果

大 学 名	慶應義塾大学
タ イ プ	B - I
構 想 名	グローバルイノベーションデザイン・プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	<p>慶應義塾大学のグローバルイノベーションデザイン・プログラム（G I Dプログラム）は、国際的文化産業におけるデザイン分野で将来のリーダーとなる人材の育成を目指し、海外の著名なデザイン・スクールと連携した協働教育プログラムとして独自の教育システムを確立することを目的としている。</p> <p>中間評価時点で、日米英3拠点における相互学生交流がおおむね順調に開始されていることは評価できる。また、慶應義塾大学は外国人学生の受入、日本人学生の派遣支援に関わるインフラ面で優れた経験値があり、本プログラムにおいても、その強みが十分活かされている。</p> <p>一方で、協働教育の中核となるべき「メインプログラム」が計画より遅れて開始されている点、参加学生の英語力の基準において、TOEFL等の英語試験結果は目安としての利用にとどめ、実践的なプレゼンテーション及びディベート等の能力が認められれば英語試験結果は問わないとしている点に関しては、今後の本プログラムの運用に支障をきたさないような工夫が必要である。</p> <p>「プレ・プログラム」などの成果を活かし、「メインプログラム」を適確に運用して成果を上げていくことを期待する。</p>